

AR 古代望見 ご案内

ご利用
無料



山梨県立考古博物館のオリジナルアプリケーション「AR 古代望見—よみがえれ！甲斐風土記の丘—」をダウンロードしてみませんか？展示室で音声ガイドとして利用できるほか、甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内の「AR モード」に対応しているスポットでスマートフォンの画面をかざすと、古代の史跡や遺跡の姿を再現することができます。

このマークがある
エリアで見られる！



ダウンロードはコチラ

App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



Wi-Fi 環境でのダウンロードをオススメします。

「AR 古代望見—よみがえれ！甲斐風土記の丘—」

ご利用案内

〒400-1508

山梨県甲府市下曾根町 923

TEL055-266-3881

FAX055-266-3882

<https://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

Twitter: @yamanashi_kouko Facebook: @yamanashi.kouko1103



Yamanashi Prefectural Archaeological Museum



開館時間

午前9時～午後5時
(ただし入館は午後4時30分まで)

常設展観覧料

一般 220 円 (170 円)
() 内は 20 名以上の団体料金

休館日

毎週月曜日 (祝日の場合はその翌日)
祝日の翌日 (土曜・日曜を除く)
12 月 29 日～1 月 1 日

※考古博物館から風土記の丘研修センターまでは車で約7分、徒歩約25分です。
(徒歩の際は曾根丘陵公園内の遊歩道をご利用ください)



- 9 自動車
中央自動車道甲府南 IC を下り1分 (IC 正面)
- 9 電車
甲府駅南口から中道橋経由豊富行バス「県立考古博物館」下車
- 9 タクシー
甲府駅から約 20 分
東花輪駅より約 15 分
- 9 高速バス
新宿駅から甲府南まわり「中道」で下車 徒歩 5 分



重要文化財 酒呑場遺跡出土土器

山梨県立考古博物館

Paleolithic age ~ 16000 年以上前

旧石器時代

山梨の大地に初めて人間の足跡が刻まれたのは、今から約3万年前の旧石器時代のことです。人々は動物を狩るため石を加工してさまざまな石器を作り、火を使って調理活動をするなど工夫を凝らし、たくましく生きていました。

▲ナウマンゾウの歯の化石



▲ナイフ形石器 (丘の公園第2遺跡)

同時代の大型動物であるナウマンゾウは約30万年前~2万年程前に日本に生息しており、山梨県でも山梨市兄川と甲府市相川から化石が発見されています。

Yayoi period 2300 ~ 1750 年前

弥生時代



▲木製農具 (身洗沢遺跡)

金属器や水稲農耕が伝わったことにより、縄文時代とくらべて社会や生活様式が一変した時代です。山梨の遺跡からも木製農具や水田跡が見つかるなど、生業が変化の様子がわかります。

▲炭化米 (東山北遺跡)



Nara・Heian period 1300 ~ 900 年前

奈良・平安時代

律令国家が成立し、貴族中心の社会が形成されました。甲斐国 (山梨県) では白鳳時代 (西暦650~700年頃) に県内最古の寺院である寺本廃寺 (てらもとはいじ) が造られ、本格的に仏教が広まっていきます。やがて国々に国衙 (こくが) と国分寺・国分尼寺が置かれるようになると、寺院の建立に不可欠な瓦が大量に生産されるようになりました。



▲軒瓦・軒丸瓦 (甲斐国分寺)

Kamakura ~ Sengoku period 900 ~ 400 年前

鎌倉~戦国時代

武士が台頭し、武家政権が成立したことでそれまでの貴族社会とは異なる文化や生活習慣が生まれました。当時山梨県では清和源氏に連なる「甲斐源氏」とよばれる勢力の活躍が目覚ましく、その血脈と精神はやがて甲斐国全体を支配する武田氏へと受け継がれていきます。



▲鎌倉時代の生活用品 (大師東丹保遺跡)

また、庶民の間では米を常食とすることが普及し、舶来の陶磁器や銭貨を使用する機会が増えてきました。

Azuchimomoyama・Edo ~ Meiji period 400 ~ 100 年前

安土桃山・江戸~明治時代



武田氏滅亡後、豊臣・徳川氏系の人々によって甲府城が築かれ、江戸時代を通じて甲斐国支配の拠点となりました。甲府城跡からは金箔瓦や鬼瓦など往時の威容をしのぼせる遺物が発見されています。また、江戸時代から明治時代にかけて富士川を使った河川交通が繁栄し、河岸跡からは全国各地の陶磁器や甲州金など幅広い交易の名残を見てとることができます。



▲左: 金箔瓦 (甲府城跡)・右: 甲州金 (鎌沢河岸跡)

2 Jomon period 16000 ~ 2300 年前

縄文時代



▲土偶いっちゃん

縄文時代は、1万年以上もの長い年月の中で多彩な文化がはぐくまれた時代でした。特に、山梨県では5,500~4,500年前にかけて、列島的に見ても人口が密集し、豊かな縄文文化が開花しました。

県内各地の遺跡からは数多くの良質な遺物が発見されており、国の重要文化財に指定されているものだけで6,000点を超えています。

とりわけ、山梨の縄文土器は優れた造形美を誇り、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の構成文化財にも認定されています。縄文時代の展示コーナーでは、当時の人々の

高い美意識と独特の世界観とが融合した、縄文文化を代表する傑作をご覧ください。

遺物画像 撮影: 小川忠博



▲人面装飾付土器 (海道前C遺跡)

Kofun period 1750 ~ 1300 年前

古墳時代



▲馬具 (かんかん塚古墳)

また、土器の形状が効率性を重視した簡素な造りとなり、壺や甕 (かめ)、高坏 (たかつき)、鉢などが用途に合わせて作られるようになりました。



▲土器群 (上の平遺跡)



この時代、日本各地の有力者たちによって「古墳」とよばれる墳墓を造る文化が盛んになり、山梨県でも、東日本最大級の前方後円墳である甲斐銚子塚古墳をはじめ、多くの古墳が築かれました。銚子塚古墳は4世紀中頃に築造され、墳丘長169m高さ15mもの規模を誇ります。後円部には埋葬施設である竪穴式石槨 (せっかく) があり、中から鏡や剣、玉類などの副葬品が見つっています。

築造当時、墳丘には円筒埴輪などが並んでいたとされ、周溝からは木製の埴輪も発見されています。

また、隣接する丸山塚古墳は、直径72m高さ11mの円墳で、銚子塚古墳に続き、5世紀の初めに築造されました。



下: 甲斐銚子塚古墳・上: 丸山塚古墳